



薩摩川内市立水引中学校「学校だより」

みずひき

〒899-1921 鹿児島県薩摩川内市水引町7602番地1

TEL:0996-26-2104 FAX:0996-26-3908

5月号

令和5年5月 22 日発行



水引中ホームページ・ブログの QR コード↑

校歌誕生の背景から

校長 日高 正人

校歌を憶えるために給食時間になると、校内に校歌が流れています。校舎の窓には、生徒会が歌詞を貼り出し、歌詞を楽しんで憶えることができるように、歌詞を虫食い問題にして掲示する工夫をしています。こうして、歌い継がれていく校歌ですが、制定されたのは昭和30年12月で、戦後の混乱もあったのか、学校創立後8年もたってから制定されました。公募により作詞は、長崎県佐世保市の大串虎雄氏、作曲は、自衛隊軍楽隊長の須磨洋朔氏の作品が選ばれ12月23日に水引小学校の講堂で発表されました。須磨氏はトロンボーン奏者で、作曲家として戦前から戦後にかけて、軍楽やファンファーレの作曲等活躍され、吹奏楽の世界ではとても有名な方です。作詞の大串氏に関しては、応募した住所以外は不明ですが、この地にゆかりのある方かもしれません（御存じの方は情報提供をお願いします）。

当時の校歌は、昭和5年頃から郷土教育運動の実践に伴い「郷土の歌」として位置付けられるようになってきた（「校歌の誕生」須田珠生 2020年3月 人文書院）ことから、歌詞に学校周辺の唐浜、秋葉山、川内川、など郷土の地名が盛り込まれていることが分かります。また、この年から神武景氣が始まり、家電三種の神器（電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ）、憲法施行など、戦後から復帰し、明るい未来へと発展してほしいという希望に満ちた世相が反映されていることが分かります。例えば、「清か」「微笑み」「誠」「光」「豊か」「開拓」「夢呼ぶ」「清らか」「真珠」「曇りなき」「朝日」「夕日輝き」「虹」「明日を担う」など、明るさや希望、発展をイメージした歌詞が並んでいて、当時の人々の思いに寄り添うと校歌に託された郷土の明るい未来を願う気持ちがよく分かります。その頃の背景を知った上で校歌を歌うと、先人たちの思いのバトンを受けとった気がして次世代につなぎたいという気持ちで満たされました。

さて、校歌の成り立ちの背景を知ることで理解が深まったわけですが、これは子供や大人もその人の育った背景を知ることが、自他の理解を深めることができるのではないのでしょうか。人の認知特性（目で見ると、耳で聞くなどの5感を中心とした感覚器から入ってきた様々な情報を脳の中で「整理」「記憶」「理解」する能力）は、同じ情報を見聞きしても、誰もが同じ方法で情報を整理したり、記憶したり、理解したりしているわけではなく、人それぞれの認知の仕方によって、その方法によって得意不得意があります。その認知特性を状況に応じてバランスよく活用している人もいれば、バランスよく活用できず、得意不得意の差が大きい人もいます。これを大きく分けると、「言語優位」など読んだ情報を処理することが得意なタイプ、「聴覚優位」など聞いた情報を処理することが得意なタイプ、「視覚優位」など見た情報を処理することが得意なタイプに分けられます。相手がどのタイプか分かるとうまく理解してもらうことが容易になります。なかなか、一目では分からないところですが、育った背景を考えてみましょう。本を読むことの多かった世代に多い「言語優位」、ラジオを聴いて育った世代に多い「聴覚優位」、テレビやスマホで育った世代に多い「視覚優位」ということができます。とても乱暴な分け方ですが、あてはまりませんか。バランスよく育った方もいますので一概には言えませんが、相手に伝えたいとき、育った世代を考えて、文字で伝えるか、言葉で伝えるか、絵や写真、動画で伝えるか一つの目安になります。

自分がどのタイプかを理解して、分かりやすくする工夫ができますし、違うタイプに自分が分かりやすい方法で伝えてもうまくいかないことを理解することが大切です。例えば、子供たちに、何かを教えるときや伝えるとき、道順や仕事の要領を先輩や同僚、部下に伝えるときに一工夫することでうまくいくのではないのでしょうか。

校歌同様、育った背景を理解することで、お互いの理解を深めることができると思います。

P T A総会・学級P T A・専門部会

4月21日(金), P T A総会・学級P T A・専門部会が小中合同で行われました。お忙しい中、御参加くださった方々に心より感謝申し上げます。今後も学校・保護者・地域が連携を図り、P T A活動の充実を図っていきたいと考えています。御協力よろしくお願い申し上げます。



生徒総会

4月21日(金), 4校時, 生徒総会が行われました。紙の資料を使わずに、タブレット端末上で資料を見ながら総会を進めていきました。ペーパーレスの生徒総会は、県内でも最先端を走っているのではないかと思います。



1年生 行事等

5月8日(月) 非行防止講話

川内警察署生活安全課の高田篤巡查長をお招きして、非行防止やSNSの危険性についてのお話をしてくださいました。



(生徒感想)

非行防止講話で警察の人が来て、話をしてくださいました。インターネットの怖さをたくさん知ることができました。気を付けて使おうと思いました。

5月12日(金) 薬物乱用防止講話

ひかり調剤薬局の下園雄治先生をお招きして、薬物の恐ろしさ等のお話をしてくださりました。



(生徒感想)

薬物乱用は、身も心もボロボロにするので、とても怖いので、絶対にしたくないと思いました。もし、万が一、誰かに勧められたとしても絶対に断りたいです。

2年生 調理実習

5月11日(木), 5・6校時, 家庭科の授業で調理実習で、ハンバーグと野菜を作りました。学校応援団で、徳丸さん、中島さん、西さんも生徒の支援をしてくださいました。



(生徒感想)

調理実習がありました。僕は玉ねぎの量を計ったり、ソースを作ったりしました。おいしいハンバーグとスープが作れました。嬉しかったです。

3年生 進路学習

5月10日(水) 11日(木) 高校説明会

公立高校4校、私立高校8校、合計12校の高校の先生がいらっしやって、それぞれの高校の特色や学科でどのようなことを学ぶのかなど、詳しい説明がありました。



5月12(金) 上級学校訪問

鹿児島城城西高校を訪問しました。鹿児島城城西高校の特色ある学科について学ぶことができました。バスの車窓から、鶴丸高校、鹿児島高校、修学館高校、鹿児島工業高校、鹿児島中央高校、甲南高校も見学しました。



(生徒感想)

城西高校は、進学ではなく自分の好きなことのプロを目指す人にお薦めの高校だと思った。年々倍率が上がってきているので、勉強を頑張ろうと思った。

日	曜	6月の行事予定
1	木	学級弁論大会
6	火	地区総体(ソフトテニス, バレーボール)(~7日)
10	土	郷土芸能(1, 2年 港六尺棒踊り)
12	月	食の指導(2年)
16	金	内科検診
20	火	修学旅行(2年)(~22日)
21	水	宿泊学習(1年)(~22日) 職場体験学習(3年)(~23日) テスト前部活動停止(~30日)
23	金	休養措置日(1, 2年)
27	火	地区総体(水泳)
28	水	期末テスト(~30日)